

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山おおたかの森駅前市有地土地取得事業			会計	款	項目	大専	小専	
				01	08	04	04	01	53
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	まちづくり推進課					
施策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備	主管課長	梶 隆之					

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	土地開発基金で過年度に先行取得した流山おおたかの森駅前センター地区の公益	意図	公益施設用地として活用を図る。
事業内容	土地開発基金で先行取得した流山おおたかの森駅前市有地の土地活用を図るため買戻しを行う。			
事業開始から現在までの状況変化	流山おおたかの森駅前センター地区の整備進捗に伴い、駅周辺の土地活用が進んでいる。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				415,774,741			
事業費(b)(円)				415,642,901			
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)				131,840			
人役・職員(人)				0.02			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	VII 終了（事業を終了すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	普通財産へ繰戻しは、平成31年度事業で実施予定。	③取組における課題(Check)	土地開発基金からの買戻しが完了。
②H30に実施した取組(Do)	財源の確保ができたことから、平成30年度事業に前倒し、繰戻しを行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	買戻し完了に伴い事業終了。

行政報告書

事業名	流山おおたかの森駅前市有地土地取得事業			会計	01	一般会計	予算区分	経常	
政 策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		予 算 科 目	款	08	土木費		
施 策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備			項	04	都市計画費		
					目	04	新市街地推進費		
主管課	まちづくり推進課			主管課長	梶 隆之		事業コード	01 — 53	
事業目的	対象			意図					
	土地開発基金で過年度に先行取得した流山おおたかの森駅前センター地区の公益施設用地			公益施設用地として活用を図る。					
事業内容	土地開発基金で先行取得した流山おおたかの森駅前市有地の土地活用を図るため買戻しを行う。								
事業の実績（指標）				決算額	事業費計		415,642,901 円		
					財源内訳	国庫支出金		0 円	
						県支出金		0 円	
						分担金・負担金		0 円	
						使用料・手数料		0 円	
						基金繰入金		415,642,901 円	
						地方債		0 円	
						その他特定財源		0 円	
			一般財源		0 円				
			職員給与費		131,840 円				
			事務事業の総コスト		415,774,741 円				
指標で表すことができない定性的な成果				繰越・継続費の状況	繰越の有無		無		
					継続費の設定		無		

職員給与費は、事務事業マネジメントシートにおいて積算した費用を掲載しています。